

# おたより 125号

私のひとりごと

石丸博巳

昨年8月に事務所を移転して、元の事務所は車庫としてそのまま使っています。例年、3月頃にはツバメがやってきて私達を楽しませてくれました。（糞の始末をする私の妻はいつも憤慨していますが）

事務所が無くなって人の出入りがなくなったので、今年はツバメが来るのかなと心配していましたが、やはり覚えていたのでしょう3月中頃には変わらずやってきました。



去年まで天井には8ヶ所の古い巣があり、毎年その巣を使って子どもを育てていました。しかし、ここ2,3年は子供が生まれても、何羽もの子ツバメが巣立つ前に巣から落ちて、死んでしまうという悲しい事件が起きていました。カラスやヘビ、そして猫に巣を

落とされてしまう事などもしょっちゅうでしたが、自分から落ちてしまうなんて可哀そうすぎると調べてみたら、何年も巣を使っていると、巣の深さが浅くなってきて、落ちやすくなってしまいうらしいのです。今年は、ツバメがやってくる前に全部の巣を一度落としてしまいました。

心配しましたが、例年通りやってきたツバメは、10日間程その場所を確認していましたが、さっそく新築工事を開始しました。早いものです。5日間ほどで新築工事完成です。ようやく例年のツバメの子育てが見られます。

とにかく毎日暗いニュースばかりです。ちょっとしたことです、例年の風景は心が和みます。

## 今月の写真紹介

住宅リフォーム

三国町山王6 黒川洋子様



### 施主様の言葉

私には今年98歳になる母がいます。

長年一人暮らしをしてきましたが、昨年夏骨折をしたのをきっかけに入退院を繰り返しました。これ以上一人暮らしをさせておけないと同居を決意しましたが、主人と暮らす三国の住宅は築60年の建物です。

足腰の弱った母を迎えるにはあまりにも不便な造りです。思い切ってリフォームと考へ石丸ハウスさんに相談しました。

当初2つある和室をすべて洋室にした上で、キッチンやバスルームなど全てをバリアフリーにすることを考えていましたが、石丸さんのご提案で、和室の天井はそのまま活かして一部屋を畳敷きのままにしてバリアフリーにし、玄関に敷いてある笏谷石を活かすなど今までの家の良さを十分活かしたりフォームとなりました。

また、キッチンは廊下との壁を取り払い広さを十分に確保したおかげで、あこがれていた対面型のシステムキッチンに生まれ変わりました。

リフォームは12月末から始まり真冬の工事となりましたが、スタッフの皆さんの寒さも厭わないお仕事のおかげで3月上旬には完成し、3月中頃には母との同居にこぎつけることが出来ました。

三国で暮らすこととなった母は、毎日バリアフリーの家の隅々までモップ掛けをしており、早々と知人と連絡を取り我が家に招くなど、新しい生活を満喫しているようです。

私も母がいることで、時間に余裕が出来て喜んでます。

黒川 洋子様



### 黒川様のこだわり

古くから残っている玄関の笏谷石はそのまの姿で残しています。工事中に能登半島地震が起こったため、心配な部分には耐震補強を施し、耐震化を図りました。



ずっと側にいる、という安心。

株式会社

石丸ハウスセンター

一級建築士事務所

TEL 82-5533

FAX 82-5537

〒913-0044 福井県坂井市三国町山王4丁目5-15 ホームページ <http://ishimaru-housecenter.co.jp>

新幹線に乗りました！

来年一年生になる孫のランドセルを買いに行ったついでに、孫たちと福井から敦賀まで新幹線に乗ってみました。

ちょっと町中をまわって、帰りはハピラインです。敦賀駅は構内が広すぎて乗り換えは大変です。早く大阪に繋がって欲しいです。